※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（専）音楽科

教科	（専）音楽	科目	演奏研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自己で選択した楽器の演奏技術を高めていきます。
・生徒個人の技能に応じた課題曲を設定し、目標をもって練習方法を組み立てていきます。
・楽曲に関する意見交流を行い、皆で協働し、音楽作品に対する理解力を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

音楽作品の演奏の学習を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1　演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。
2　音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
3　音楽作品を尊重して演奏したり観賞したりする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとのかかわり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、器楽で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、自己とのイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって創意工夫している。	主体的・協働的に表現の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	基礎練習	・生徒個人の活動状況に応じて個人レッスンを行う。	a：曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。（知識） a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもって創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的、協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	独奏曲	・発表会のための選曲、準備を行う。 ・選択曲の発表 ・意見交流会	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（知識） a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもって創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的、協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 授業観察
二学期	練習曲	・生徒個人の活動状況に応じて個人レッスンを行う。	a: 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。（知識） a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもって創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的、協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	独奏曲	・発表会のための選曲、準備を行う。 ・選択曲の発表 ・意見交流会	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（知識） a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもって創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的、協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 授業観察
三学期	合奏曲	・発表会のための選曲、準備を行う。 ・選択曲の発表 ・意見交流会	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（知識） a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもって創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的、協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度